

独ハノーバーで開催の世界最大級の工作機械見本市「EMO HANNOVER」に出展

# 積層造形装置やインダストリー4.0など 最新技術に業界の注目集まる

## 世界中の主要企業が集まる 国際金属加工見本市に出展

当社は、2017年9月18日～9月23日、ドイツ・ハノーバーで開催された国際金属加工見本市「EMO HANNOVER 2017 (エモ・ハノーバー)」に出展し、世界初出展の新機種、リニアモータ駆動 高速・高性能 大型ワイヤ放電加工機「ALC800G」をはじめとする最新鋭の機種を展示いたしました。

「EMO」は、2年に一度、ドイツ・ハノーバー、またはイタリア・ミラノで開催されている世界最大級の工作機械展示会です。今回のEMOには、45か国・地域から2,187社が出展、工作機械の最新トレンドを把握するため、全世界か

ら約13万人が来場するなど、世界的な注目度の高さが窺われる国際展示会となりました。

EMOは購買目的の来場者が多いのが特徴で、会期中の取引成立額は80億ユーロに上ると見込まれています。

今回の開催では、世界中で注目を集めているインダストリー4.0への対応に関する展示に加え、三次元積層造形装置関連の展示も増加、金属積層、切削、焼き入れが1台で可能な製品や、大型部品の加工にも対応可能な製品の展示が目立ちました。

また、ロボットの活用や、工具・工作物関連の自動化システムとの連携によるスマート化を意識した展示や、多軸・複合工作機械の展示が引き続き増加し、複合機能のラインナップも多岐にわたるなど、工程集約のニーズの高まりが窺われました。

## 世界各国からの来場者に 次世代のものをづくりをサポートする 最新技術を提案

ソディックブースでは、欧州にて需要拡大が見込まれる自動車、航空宇宙、医療機器産業向けを中心に多彩なソリューションを提案するとともに、世界初出展機種の「ALC800G」、「VL600QH」をはじめとする最新鋭の機種を展示いたしました。また、ドイツ政府が推進するインダストリー4.0の動きを踏まえ、生産効率化やロボットを活用した生産自動化など、次世代のものをづくりをサポートする最新技術を訴求しました。また、精密金属3Dプリンタ「OPM250L」の展示エリアでは、実際に機械を稼働させ、1台のレーザーを高速に制御することで、複数箇所を同時に造形できるパラレルモードなどを実演するなど、多くの来場者の関心を集め、多くの引き合いをいただきました。

### <EMO HANNOVER 2017概要>

会期 2017年9月18(月)～9月23日(土)  
開催地 ドイツ・ハノーバー  
来場者数 約13万人  
出展社数 2,187社(日系84社)  
※ 当社出展機:ワイヤ放電加工機「ALC800G」「VL600QH」、  
金属3Dプリンタ「OPM250L」など

Sodick Deutschland GmbH  
President  
Norbert Kempf



## ALC800G

リニアモータ駆動 高速・高性能ワイヤ放電加工機の新シリーズとして開発された「ALC800G」は、自動車関連、電気関連の大型金型や、エネルギー・航空宇宙・自動車関連の大型部品加工分野における高速・高精度・高品位加工を実現しました。先進的な環境対応型工作機械として、独自のフルカバースタイルによりグローバル規格に準拠しています。



ALC800G 展示エリア



EMO HANNOVER 2017 当社ブース



Sodick Europe Ltd.  
CEO  
Peter Capp